



手触りの良いもの、心地いいもの
そんな素材に包まれて暮らす。

「こんにちわあ〜!!」っと
元気にデッキから入ってくるのは
息子さんのお友達。
内と外が一体となり、
みんなの笑い声が響き渡ります。
デッキで街と家族がゆるやかに
つながります。

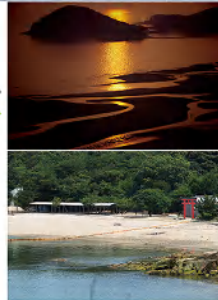
綾歌郡 M邸 2013年4月竣工
延床面積 / 130.92㎡ (39.67坪)
構造 / 木造2階建
設計・施工 / 菅組

仁尾の海で
最高の思い出を...

仁尾の海
sea of nio

「仁尾の海」は県内外から多くの人々が訪れる瀬戸内海の中でも
人気のスポットです。6月ごろは潮干狩り、夏は海水浴が楽しめます。
また、「日本の夕陽百選」にも選ばれた海でもあります。
最高の思い出を仁尾の海でつくみませんか？

- ① 葛島 (無人島)
- ② 父母ヶ浜 (ちぶがはま)
- ③ 仁尾サンビーチ



木とともに。 菅組

菅組 www.suga-ac.co.jp
菅組の木の家 www.suga-kinoie.jp
古木里庫 kokiriko.jp
讃岐の舎づくり倶楽部 www.sanuki-ie.com

〒769-1406 香川県三豊市仁尾町仁尾辛15-1
TEL 0875-82-2441 FAX 0875-82-2939

ご意見、ご感想、「あのの」の配達希望、配達停止希望など
ありましたら下記までご連絡ください。
Tel 0875-82-2441 ueno@suga-ac.co.jp (担当 植野史子)

発行：4300部

木とともに。
あのの

夏号 2015 vol.34

お宅訪問レポート
内と外が一体となった暮らし



森里海から
古木里庫より
菅組 鎮守の森
キャンドルナイト
はしもとみお彫刻展

あのの：讃岐の方言で「あのね」という呼びかけ言葉
表紙：M邸のデッキ、シャボン玉で遊んでいる風景



◇まちをつなげる住まい
家に招いたり遊びに行ったり、通りを行く人に
声を掛け合ったり、庭先からつながる和がまち
をつくり、この程よい距離感が安心できる空間
を生んでいます。特別なことのないありふれた
日常をおくるM邸が、本当の暮らしの大切さを
教えてくれます。

◇心地よい暮らし
一階奥につくられた畳スペースから無垢床材の
リビング、その先のデッキへとつながる段差の
ない空間は、部屋と部屋、内と外の境界がゆる
やかなことすべてがひとつながりとなり、
心地よい風もどまることなく吹き抜けが
すっきりと収まっており、目線から外れるよう
に配された冷蔵庫やカウンターに隠された戸
棚など設計の工夫の他、普段から適材適所に
片付ける事を心掛け得ている奥様の気配りが
みえます。息子さん二人の洋服も手の届くこ
ろにしまい、自分で出し入れができるようです。
広いデッキはご主人の希望でした。はき出し
窓を戸袋にしまいきることで境界がなくなり、
部屋の続きとしてデッキを使うことができます。
また、深い軒のおかげで雨の日も窓を開放し、
雨の匂いや音を楽しみながらくつろげます。
思い描いていた陽だまりの下での読書は至福
の時。近づいては遠ざかる鳥の声や、近くに
住む子供たちの遊ぶ声が、ゆるやかに流れる
時間をさらに満ち足りたものにしてくれます。
◇近所には年の近いお子さんが多く住み、心地
のよいM邸が大好き。休みの日になるとデッキ
から顔をのぞかせ、自然と人が集います。
◇以前のアパート暮らしでは考えられないほど
家で過ごす時間が増えたといえます。

宇多津町のとある住宅地。周りの田畑は春の
収穫を終え、夏の支度を進めています。そんな
風景に囲まれた家々の一角に子供たちの声が
集まっています。家族四人のなげない日常を
切り取った風景がそこにありました。
家づくりは、設計士との出会いからはじまり
ました。息子さん二人の成長を機に家づくり
を決めたMさん夫妻。いろいろな見学会を訪
ねたり、参考作品をみて勉強してきたという
なか、当社の設計担当が持つってきた写真が、
まさにMさんの一番お気に入りのお宅でした。
「まさか一致するなんて、とびっくりしました。
でも自分のイメージするものを理解してくれ
たこの方に家をお任せしようと思いました。いく
つか希望は伝えましたが、細かな色や材質な
ど提案していただいた案は理想の家そのもの
でした。」

森もり里さと海うみから

NO.34 カワドと水舟

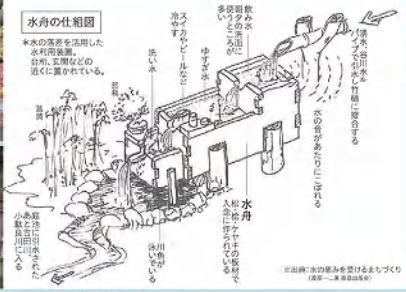
くじょう 郡上踊りや郡上鮎で知られる岐阜県の郡上八幡。ここには市内を流れる長良川やその支流の吉田川の他、豊富な湧水を利用した伝統的水利用形態が今でも残っています。その一つが川や用水路を洗い場として利用する「カワド」と呼ばれる水辺空間です。カワドとは用水路を「せぎ板」と呼ばれる板で流れをせき止め、水位を上げて洗いものをする場です。昔からの習慣が今でも残っていて、地域の共同使用のカワドには今でも地域の主婦達が洗い物をするために集まり、自然に地域コミュニティの場にもなっています。上流のカワドでは魚介類、野菜などの食物を洗ったり、食器洗いにも利用されているようです。夏のカワドにはビールなどの飲み物、スイカトマトなども冷やされています。昔からの水利用の知恵が、今でも息づいていて季節の風物詩としての光景をつくっているのです。

もう一つの郡上八幡特有の伝統的水利用システムが「水舟」です。町を歩いていると、時折見られる木や石で作られた大きな水槽。湧水を引き込んだ二槽または三槽からなる水槽のうち、最初の水槽が飲み水や食べ物を洗うために使われ、次の水槽は汚れた食器などの洗浄に使われます。残飯はそのままの地に流れ、飼われている鯉など魚のエサとなり、水は自然に浄化されて川に流れこむという仕組み、水を大切に有効に使う先人の知恵ですね。そしてそれは水利用の機能としてだけでなく、水舟という人が作った制作物が街の点景として景観をつくっていることも見逃せない重要なことだと思います。生活に密着した「暮らしの風景」が地域の本物の景色を映し出すのではないのでしょうか。

「カワド」や「水舟」が担ってきた機能性という側面は、もしかしたら今では必要不可欠のものではなくてきているのかもしれませんが、そのような状況下でこのような水利用の文化を継承していくことの難しさを改めて感じます。これはカワドや水舟に限ったことではありませんが、単に保存・継承という以前に、その場に残していく必然性のようなものがなく、生き生きとした魅力的なものとしての継承は難しいような気がします。しかしながら生きた形で先人の知恵を後世に継承していくことは、我々世代の責任だと熱心に感じる今日この頃なのです…。



a. せぎ板で用水路の水をせき止めたところ。 b. せぎ板で水位を上げて洗い物をする。 c. 共同カワド。地域のコミュニティの場でもある。 d. 郡上八幡のカワドや水舟は今でも現役で使用されている。使われることが文化の継承に最も優れている。
※郡上八幡の水事情については下記書物に詳しい。
「水の恵みを受けるまちづくり(読部一二巻 鹿島出版会)」「水縁空間 住まい学大系/055(読部一二巻著 住まいの図書館出版局)」



古木里庫だより

古木里庫店主の浪越です。ここでは、古木里庫のほんとな情報をお伝えしますね！



「ロハスデザイン大賞」にノミネート!



雑誌「ソトコト」が主催する「ロハスデザイン大賞」コンテストに、古木里庫で販売している「木造校舎の机・椅子」がノミネートされ、5/15(金)から3日間東京新宿御苑展で展示されました。

新しい家具が仲間入り!



古木里庫で取り扱っている家具に、新しい種類が仲間入りしました! デザイン性、使い勝手抜群ですよ!

実は、私が作ってみました…。



木で作った斧のオブジェ。実は私の手彫り作品なんです。刃の大きさやカタチが異なるノミを使ってコツコツと作りました。大きいものやミニミニサイズのものなど展示しています。古木里庫にお越しの際は、見つけてくださいね!

お問い合わせ
三豊市仁尾町仁尾264
TEL 0875-82-3837
10:00-17:00 金曜定休
http://kokiriko.jp

鎮守の森プロジェクト開始から約5年半
菅組 鎮守の森の今

菅組100周年事業の一環として2009年9月末に実施した植樹祭。570名以上の方に参加していただき約1,140㎡に54種類の苗、5,500本以上を植樹しました。あれから約5年半。植樹した木々たちは、しっかりと根を張り「菅組 鎮守の森」として日々すくすくと成長しています。



菅組 鎮守の森のお花たち
tree in flowers

植樹した木には、四季折々のかわいらしい花が咲きます。小鳥や虫たちも、待ってましたと言わんばかりにやってきます。これからも、色とりどりの花たちが私たちを楽しませてくれることでしょう。



第20回
1000000人のキャンドルナイト
2015夏夏 in 古木里庫

6/13 ±
19時~21時
前場18時年
入場無料



古木里庫がお届けする20回目のキャンドルナイトです。古材にゆらめく1000個のキャンドルが生み出す幻想的な空間をお楽しみください。

ワークショップ
フローティングキャンドル作り
水に浮かべるかわいいキャンドル
¥500/個

飲み物
珈琲
ジュース
¥200

絵かきコーナー
キャンドルホルダー作り
紙に絵を描くだけの簡単ホルダー
無料

ハチドリのお話
キャンドルナイトはじまりのお話
「私にできること」は? 小さなハチドリのお話

でんきを消して、スローな夜を。
炎のゆらめきを見つめて、電気のない時間を過ごす。やさしい灯りのそばで、大切な人とコーヒータイム。二度とない瞬間を写真にのこす。特別な夜を思い思いにお過ごしください。

彫刻家 はしもとみお展
木のどうぶつえん



木には無限の可能性があり。古木里庫の木の空間に様々な動物たちに生まれ変わった木が集います。彫刻家 はしもとみおさんのつくる木の動物たちは、まるでそこにそのまま生きているかのようなリアルさと、見たものの心を一瞬で捉えるかわいらしさを兼ね備えた作品です。古木里庫の「木のどうぶつえん」をお楽しみください。

7/4 ± 7/12 日
古材と薪ストーブのお店
古木里庫
10:00-17:00 入場無料

現実そのままのかたちを自然素材の木でつくる動物彫刻家
はしもとみお
日本各地で開催中。メディアでも注目され、昨年はユニクロのCMにも出演されました。
HP: http://kirinsan.awk.jp

木彫りワークショップ 10:00~13:00 各定員12名 予約制
料 金: 4,500円/人(材料費込)
持 持: 写真資料、彫刻刀(お持ちの方)、筆記用具、エプロン、ハンカチ
対 象: 小学生5年生以上
(小学生1人につき大人1人付添い必要)
申 込: 電話、FAX、メールのいずれか
必 要 事 項: お名前、住所、年齢、性別、参加人数
※当日連絡先・参加人数

7/4 ± おすわり猫の彫刻
7/5 ± おすわり犬の彫刻

イベント
7/4 ± 10:00~17:00 友権出版
はしもとみおさんの大学時代の親友
「ブラブシーナ」さんの1日限定カフェ

開 古木里庫 TEL:0875-82-3837 FAX:0875-82-3844
合 古木里庫 mail:kokiriko@suga-ac.jp